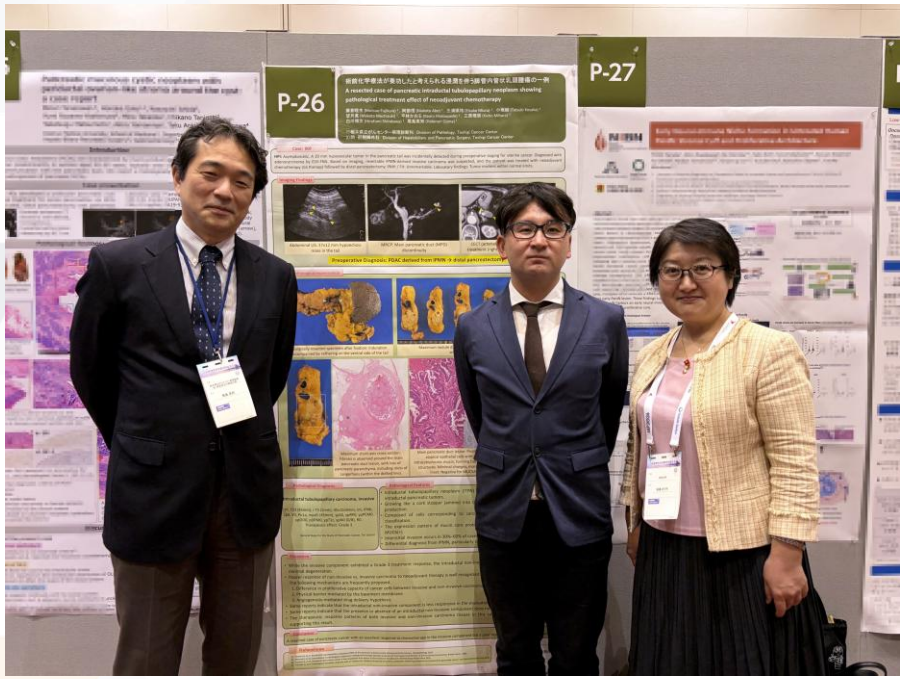
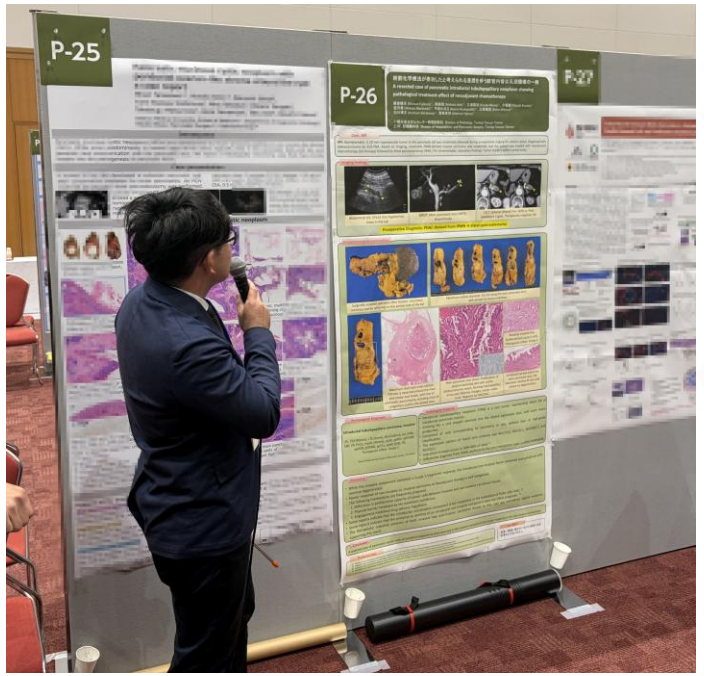
2026年 10月 9日（金 ）第 72 回日本病理学会 秋期特別総会（福岡）で藤倉は症例報告を行いました



尾島先生、藤倉、笹島ゆう子先生（帝京大学病院病理部教授）



発表中の藤倉

「術前化学療法が奏功したと考えられる浸潤を伴う膵管内管状乳頭腫瘍の一例」を報告しました。

膵管内管状乳頭腫瘍（ITPN）は稀な膵腫瘍であり、術前化学療法後に切除した症例の報告は限られています。そのため本腫瘍の標準的治療は確立されておらず、化学療法に対する反応性についても不明な点が多いのが現状です。今回われわれは、切除標本の組織学的な検討から術前治療が著効したと推定される症例を経験し、一般的な膵癌の治療反応性に関する既報告と合わせて考察を加えました。フロアからは術前画像診断との整合性に関するご質問をいただき、組織学的治療効果判定の難しさを改めて考えさせられました。

当日は、私の出身医局である帝京大学病院病理部教授の笹島先生にもお越しいただきました。発表に対してお褒めの言葉を頂戴し、大変光栄に存じます。（藤倉）